

報道関係各位

令和8年2月6日

東京都大島町と国立大学法人電気通信大学との包括的な連携協力に 関する協定の締結について

東京都大島町と国立大学法人電気通信大学は、相互の資源及び学術研究成果等の交流を促進し、活力ある地域社会の創造、協働による地域の課題解決、人材育成及び相互の発展に資することを目的として、令和8年2月21日に協定を締結します。

1. 協定の概要

(1) 協定の名称

東京都大島町と国立大学法人電気通信大学との包括的な連携協力に関する協定書

(2) 協定締結日

令和8年2月21日（土）

(3) 連携協力事項

- 地域観光・産業振興・自然環境に関すること。
- 教育・学術研究・文化発展・生涯学習に関すること。
- 学生及び教職員等の交流及び人材育成に関すること。
- 防災・福祉・生活向上を図るための仕組みづくりに関すること。
- 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成に必要となる事項に関すること。

2. 協定締結式

(1) 日時

令和8年2月21日（土） 11時30分から12時00分まで

(2) 場所

大島町役場 町長執務室

（東京都大島町元町1丁目1番14号 大島町役場2階）

(3) 出席者

国立大学法人電気通信大学 理事 村松 正和 ほか
大島町 町長 坂上 長一 ほか

3. 取材申込

協定締結式当日の取材を希望される場合は、2月13日（金）17時までに下記問い合わせ先にご連絡の上、当日は直接会場にお越しください。

4. 直近の連携

(1) 円筒形太陽電池を活用した島しょ地域におけるソーラーシェアリング実証事業

令和6年度より町直営の牧場未利用地に次世代型ソーラーセル等を使用した円筒形太陽光発電設備を設置。その下で伊豆諸島名産の明日葉を栽培し、発電量や塩害、農作物の成長等の研究を行い、離島向けソーラーシェアリングのモデル確立を目指し電気通信大学との共同研究を実施。(令和6年度～東京都「区市町村との連携による環境政策加速化事業(将来性ある先進的事業)」)

(2) 遊休温室を活用した地域産業創出プロジェクト — 大島の資源を次世代に

遊休化した温室を活用し、高度な栽培技術やデジタル技術を組み合わせることで、付加価値の高い食材である生胡椒の安定生産を目指す。シェアファームでの就農モデルの検証や大島産農産物を活用したメニュー開発も行い、地域産業の創出とブランド化を推進する。(令和7年度「東京都と大学との共同事業」)

(3) デジタルを活用したこれからの学びの推進（予定）

電気通信大学、東京都教育庁大島出張所、大島町教育委員会が連携し、デジタルを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びを実現させ、一人一人が「自立した学習者」となる学びを目指す。

令和8年2月16日、17日に、さくら小学校、つづじ小学校、第二中学校、第三中学校にて授業を実施予定。

【問い合わせ先】

大島町政策推進課振興企画係 小泉
電話 04992-2-1444

国立大学法人電気通信大学
総務企画課広報係 土井
電話 042-443-5019

【参考：国立大学法人電気通信大学の概要】

所 在 地： 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

学 部： 情報理工学域（Ⅰ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）、先端工学基礎課程）、
大学院情報理工学研究科（情報学専攻、情報・ネットワーク工学専攻、機械知能システム学専攻、基盤理工学専攻、共同サステイナビリティ研究専攻）

学 生 数： 4,917 人（情報理工学域 3,441 人、大学院情報理工学研究科 1,476 人）（令和7年5月1日現在）

教職員数： 462 人（令和7年5月1日現在）

理 念： **万人のための先端科学技術の教育研究**

情報と通信を核とした諸領域の科学技術分野において、世界をリードする教育・研究拠点として教育力と研究力を発展させます。

自ら情報発信する国際的研究者・技術者の育成

社会と技術への幅広い見識、国際性、倫理観を備えた、創造力と実践力のある研究者・技術者を育成します。

時代を切り拓く科学技術に関する創造活動・社会との連携

広く内外と連携した知と技の創造活動を通じて、我が国と国際社会の発展に貢献します。

大学ホームページ： <https://www.uec.ac.jp/about/>



【参考：東京都大島町の概要】

位 置： 東経 139 度 21 分から 28 分、北緯 34 度 40 分から 48 分

面 積： 総面積は 90.76km² 東西 9km、南北 15km、周囲 52km

距 離： 東京から 120km、熱海から 46km、伊東から 36km、稻取から 28km

人 口： 4,093 世帯 6,535 人（男性 3,387 人、女性 3,148 人）（令和7年3月末）

気 象： 海洋の影響を強く受け気温の較差が小さく、温暖多湿な海洋性気候であり、冬の季節風と春先の低気圧は風を、台風は多雨をもたらす。

地 勢： 都心から 120 km南の洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の島で、島の中央部には標高 758m の三原山がそびえ、現在も火山活動を続けている。富士箱根伊豆国立公園に属し、島の約 97%が自然公園法によって規制されているため、自然景観と生態系が十分に保護されている。

町ホームページ： <https://www.town.oshima.tokyo.jp>

